

研究発表要旨

1. 日西両語母音の - 音声学の考察

京都産業大 三好 準之助

西語の発音は之の母音発音に於ける日本語への相似に下つて我々日本人には容易である、とよく言われる。そこで、之の両語の母音発音を音響学(主としてソナグラム)を通つて分析し、その発音上の相違点・相似点を明らかにし、それら次第に聴覚的に似てゐると思われりる部分や異質なるものに感じられる部分ととの工夫等関係にあるのか、さらに我々が西語母音の発音を指導する時に注意すべき点は何か、を考察したものである。

2. ウナムノ小説の目標

京都外大 吉家 久世

ウナムノの作品は、“人間が不滅のものであるか否か”を追求する事によつて出来上つたと言われたい。しかし、それ以外に、何か他の意図があつたのではなから、とこの仮説を立ててみた。

ここでは、特に彼の小説の代表作を取り上げ、彼の歴史観と世界観を基盤に分析する事にしよう。そして、ウナムノが、スペインの現実を讀者に訴へるから、現代の若者達の苦悩を彼が半世紀前に、すでに感じてゐたという新論を出してみよう。